朝礼　校長講話（６月６日）

先々週、陸上部の壮行会をこの場でした時に、「去年は、陸上部の子たちが優勝旗を持ってきてくれ、そこから弥富中の活躍が始まりました」という話をしましたが、今年もやってくれました。去年に引き続き、女子が優勝をし２連覇を達成してくれました。他の部も間もなく夏の大会が始まりますが、ぜひこの流れに乗ってほしいと思います。

さて、先週、２年生は職場体験学習が、３年生は修学旅行が終わりました。これで、１年生のオリエンテーション合宿とあわせて、１学期に予定されていた学年の大きな行事がそれぞれ終わりました。学年の先生方からも、活動の中でみなさんがしっかりやっていたという報告を受けています。
ところで、こうした行事をみなさんはどう考えているでしょうか。先生はこう考えています。２年生は職場体験学習で事業所の方やそこにみえるお客様などに「おはようございます」「いらっしゃいませ」と元気よくあいさつをすることができました。３年生は修学旅行の３日間で、誰一人として集合時刻に遅れることなく、余裕をもって行動することができました。こうしたことは、行事の時だけ意識してもできるものではありません。日頃の学校での生活や家での生活でどれだけできているかによると思うのです。みなさんはそれが普段できているから、こういう行事でもできたと思います。そのことは大きな自信として胸に刻んでください。
そして、この行事でできたということを、また次の日からの日常に生かすことも大切だと思います。行事が終わったからといって、そこでプツッと切れてしまうのはとてももったいなく思います。職場体験学習でできたあいさつを、学校でも友達や先生に「おはよう！」と気持ちのよいあいさつで生かしてください。修学旅行で時間を守れたんだから、授業が始まる前に余裕をもって教室に入り、席につくこともできると思うんです。普段の生活→行事→普段の生活→行事、というように連続して自分たちの力を高めていく、それがとても大切だと思います。
今日もこの後、生徒会が中心となって学校際のブロック決めが行われ、いよいよ学校祭が始まります。日頃の生活で力をつけ、それを学校祭という場で発揮してほしいと思います。期待しています。